

【めざす学校像】

【自主的な学びを創造する学校】
子どもの自主的な学びのある学校
【チームで育む学校】
相互信頼を基盤にチームで子どもを育む学校
【信頼・連携・協働する学校】
家庭や地域と信頼・連携・協働のある学校

【学校教育目標】

かんがえ(知) かんばり(意) さしく(情) きたえる(体)
かがやき(校訓)

【めざす教師像】

【目標と実践力】
めざす子ども像を明確に描き、その達成に向けて具体的なプランを実行できる教師
【創造力と授業力】
主体的、対話的で深い学びのある授業を通して、意欲的な学びを創造できる教師
【信頼と連携】
家庭、地域、中学校との連携を大切にし、信頼される教師

【今年度の重点目標】

自ら進んで学び、自己有用感を高める子どもの育成

学習指導要領

【自立】のために
自ら意欲的に取り組む授業づくり

【共生】のために
自己有用感を高め合う学級づくり

北海道教育推進計画

上川教育推進計画

- 重点1:チームを核とした組織運営と危機管理
- 重点2:確かな学力の育成
- 重点3:豊かな心の育成
- 重点4:健やかな体の育成
- 重点5:夢・自己有用感の育成
- 重点6:業務改善と適切で効率的な学校事務
- 重点7:小中連携・一貫教育の推進
- 重点8:コミュニティ・スクールによる地域と共にある学校づくり

小中一貫教育による9年間でめざす児童像・生徒像

小学校

自ら進んで学ぶ子

自他のよさを認められる子

自ら心と体を鍛える子

目標や希望をもって取り組む子

確かな学力

豊かな心

健やかな体

夢・自己有用感

何事にも主体的・意欲的に挑むための活きた知性をもつ生徒

広い視野に立ち他者を思いやりながら行動できる心豊かな生徒

自己実現に向けて最後までやり抜く強い心と体をもつ生徒

夢や希望の実現に向けよりよい生き方を目指す生徒

中学校

小中連携・一貫教育の推進

【推進のねらい】

小中が連携し、9年間を見通した「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」、「夢・自己有用感」を育成する。

【今年度の取組】

- 視点1 「9年間のめざす子どもの姿の達成」
キャリア教育(キャリア・パスポート)を基盤とした学年・学級経営
- 視点2 「教育課程の編成」
9年間を見通した教育課程の編成
- 視点3 「教育活動の連続性」
小中学生がともに活動する機会の充実
- 視点4 「教職員間の連携・協働」
◇合同研修
◇部会による連絡・調整・企画・実施
◇各調査の結果の分析、改善策の共有
- 視点5 「家庭・地域との連携・協力」
学校評価を活用した分析と改善策

あさひやまコミュニティ・スクール(C.S)の推進

学校運営協議会を核とした活動

- (1)活動のねらい
学校・家庭・地域が一体となって、「9年間で目指す子どもの姿」を達成する。
- (2)各部の活動
【学校評価部】
・あいさつによる地域の方々とのつながり
・地域の歴史についての学習機会の提供〜郷土愛の醸成
【学校支援部】
・交通安全街頭指導への支援
・ラジオ体操への参加
・放課後学習

連携

協働

一貫

旭川中学校

確かな学力

- ◇学力向上推進計画の実施
- (1)数値目標の設定
- (2)具体的方策
 - ①学習規律の指導
 - ②指導スキルの向上及び授業改善
 - ③T.T、少人数別指導の工夫
 - ④読書指導
 - ⑤家庭への働きかけ〜家庭学習
 - ⑥チャレンジテストの実施と分析
 - ⑦iPadの有効利用〜eライブラリ〜実践例の蓄積
 - ⑧長期休業中の学習サポート
 - ⑨スクールボランティアの活用
 - ⑩小中一貫した取組による学びへの意欲化

豊かな心

- 1 道徳教育の推進
 - (1)考え議論する道徳授業の充実
 - (2)お互いの良さが分かり、認め合い、いじめのない学校作りのための取組
- 2 自己をよりよく導く生徒指導
 - (1)教職員の共通理解・共通指導に立った指導体制の確立
 - (2)心の居場所を作る学年・学級経営の充実
 - (3)児童相互の心の触れ合いを大切し、自他の心を育てる指導の充実

健やかな体

- 1 体力向上推進計画の実施
 - (1)3つの柱
「体育授業の改善・改革」
「運動習慣の定着」
「新体力テストの推進」
 - (2)具体的な取組
 - ①体力向上のテーマ設定とロードマップ
 - ②新体力テストの実施
 - ③体育授業の改善・充実
 - ④学校行事の工夫
 - ⑤日常的な体力向上の指導
 - ⑥冬季における運動や外遊び
 - ⑦食育の推進
 - ⑧家庭への働きかけ⇒「早寝、早起き、朝ご飯」⇒「体育通信」⇒「メディアルール」の啓発
- 2 児童の健康増進
 - (1)「学校の新しい生活様式」の指導
 - (2)日々の健康確認と体調不良時の対応
 - (3)環境美化

夢・自己有用感

- 1 よりよい生き方を目指すキャリア教育の推進
 - (1)子どものキャリア発達段階に応じた指導の充実と指導体制の確立
 - (2)自らの役割や責任を果たし、自己有用感を高める指導の工夫
 - (3)子どものよさや可能性を伸ばす「キャリア・パスポート」や「ほっと」の活用
- 2 個と集団のよさを実感する特別活動
 - (1)所属間や協力性を高め、自己有用感をもたせる指導の工夫
 - (2)育てたい力を明確にした集団活動の充実

連携

協働

家庭・地域

感染症への対応の継続と徹底

(衛生管理マニュアルの徹底, 教育課程の工夫と改善, チームでの学校運営と危機管理)